

みなさん、こんにちは！就職資料室（就職指導課）です。

就職活動が本格始動して1ヶ月、みなさん、スタートダッシュはうまく切れましたか？

先日、私がいいなと思った相談は、エントリー100社したら、收拾つかなくなっちゃった～(>\_<)助けて、という相談。

自分で少しでも興味をもった企業にアプローチしている、それを100回やった行動力に拍手(^ ^)/～～でも情報管理力は磨いてね。

### \*エントリーシート・履歴書 大変だよね\*

エントリーしたら、まずやらなくてはならないのが、「書類作成」苦手意識を持っている人が多いです。せつかくやるなら楽しくやろう！書類は自分の分身だよ、丁寧にね。

### 【自己PR】

一番大切なのは、自信を持って主張すること。ちっぽけな自信でも構いません！基本構成は次のとおり。

- 1.結論  
(私の強みは～です。私は～に自信があります)
- 2.根拠  
(学生実験にこんな風に取り組む中で培いました/発揮されました)  
※それはこんな意識で/想いで常に〇〇していたからです、というような、「気持ち」を入れると自分らしさが出ます。
- 3.再現性  
(この力を貴社でこんな風に活かし、〇〇な人材に成長できると確信しています/こんな風に活躍します)

### ◇書くときのポイント

文章を書くときは、ダラダラと書くのではなく、上記3点の項目にブロック分けして、まずそれぞれの項目で何を書くか、**箇条書き**で思いついた言葉を書き出します。

箇条書きで書き出した文章を組み合わせつなぎ、全体を整えます。

『2.根拠』の部分では、エピソードを長々書くのではなく、どんな場面で、どんなことを、**どんな意識で・想いで**行ったのかを端的に書きます。

NG例)

- ・さんざん書いて「結果こんなことを学びました！」とガクチカになっているもの
- ・「はじめはできませんでしたが、続けるうちにスキルを身につけました」と時系列の物語調になっているもの

### 【志望動機】

- 1.なぜその業界に興味があるか、ポイントやきっかけ  
(〇〇学の実習の中で、●●について詳しく学び、体験し～/接客のアルバイトで●●の経験を～ など)
- 2.業界のなかでもその企業である理由/貴社の魅力  
(貴社の〇〇事業の●●な点に非常に～/●●に力を入れている点に～ など)
- 3.具体的に挑戦したいこと、貢献できること、その会社で成し遂げたいこと  
(貴社では××に挑戦し、●●の成果を出したいと～ )

### ◇書くときのポイント

**とにかく『具体的に』**です。志望動機はHPの言葉を引用するとみんな同じに見えてしまいます。

NG例)

- ・貴社の〇〇という企業理念に共感しました…？って？企業理念のどこについてどう思ったのか、どう自分の考えと一致したのかを具体的に書かないとダメ
- ・営業職として貴社に貢献したい…どう貢献してくれるの？
- ・貴社でおいしさとお届けしたい…自分らしさゼロ

### \*就職資料室 利用状況\*

プロフィールシート添削以降、就職資料室の相談コーナーは、おかげさまで**連日大盛況**です。現在は2週間先なら予約が可能。お早目にご予約下さい。ただ、「説明会に行って、来週までに履歴書出してと急に言われました～」という声にも、できる限りお応えしたいと考えていますので、まずは**カウンターで相談して下さい**。

特に初めて相談コーナーを利用する方は、少しですが「初回枠」を設けています。また何度も利用している方は、書類添削のみを承ることも可能です。

みなさんも、今は第一のがんばりどころ。一緒にがんばろう(^ ^)v

### \*相談コーナー しつもんひろば\*

最近の【しつもんあるある】です。自分の疑問はみんなの疑問、「これ、疑問だった～」ということが解消されるかもしれません。

### \*業界が広がりにすぎて…3つは多いですか？

➡結論から言うと、多くありません。数は気にする必要はありません。逆に、業界を絞る理由は何でしょうか？業界研究が楽だから？志望動機が書きやすいから？確かに業界1つだったら、業界研究は1つ、志望動機も途中までは似た感じで書けそうです。ただ、そこを「楽できる」だけです。自分の志望先を狭める理由にはなりません。自分のやりたいこと、興味分野が多方面であれば、業界が多数になるのは当たり前のこと。合同企業説明会で多くの企業の話聞けば、興味が広がります。自分の「いいな」と思った感性を大事に、1社1社「この企業のどこが気に入ったんだろう」と**自問自答**して、志望動機につなげてください。

### \*学科と関係ない業界や企業を受けるのは…いいんですか？

➡なぜダメなのか、逆に聞きたいです。学業と近い業界であれば、当然業務内容に興味湧きやすいため、志望する人が多い、というだけです。同じように、学業ではなく、趣味や嗜好で自分が好きなこと(スポーツや音楽、PCなど何でも)から関連する企業に興味湧き、志望しても、全く問題ありません。せつかく勉強したからもったいない、という発想だけで、自分の可能性を狭めるのは逆にもったいないです。

### \*志望動機が書けません

➡志望動機が書けない主な原因は、その会社のことをよく知らないから、つまり**企業研究不足**です。食品だから～、建設だから～と希望の業界、というだけで書こうと思っても書けないのは当たり前。その企業ならではの魅力を認識してください。そのためには、その企業の情報だけでなく、**同業他社の情報、業界全体の情報など、多角的に企業を知る必要があります**。志望動機が書けないのは、勉強不足と心得よ！

### \*自己PRが書けません

➡自分の強みがわかりません、良いところなんてないです、と悲観しては、一生書けません！自分の良さを認識できない人の多くは、**【他人と比較】**しています。自分はあるにすぎない、ダメだとしょんぼりしています。そうではなく、**自分自身の中で、【ここは自信がある】**というところを自分で見つけてください。自分を認められない人は他人も認めることができませんよ。

### \*全部落ちたらどうしよう

➡まだ落ちていないのに、心配するのはやめましょう。一説では、余計な心配をする人は「ヒマだから」だそうです。ESを書く、企業研究をするなど、目の前のやるべきことをコツコツやることで、心配する「ヒマ」をなくしましょう。コツコツが自信につながります。どうしても心配な人は相談コーナーで吐き出していいよ。

## \*内々定に関して\*

もう内々定がちらほら出ています。内定をもらったみなさん、おめでとうございます。

ただ、内定が出たからと言っても、まだほとんどの方はまだ就活を続けています。

ちなみに「内々定」と「内定」の違いを時々聞かれますが、どちらも同じように使って問題ありません。

厳密に言えば、10月頃に実施される内定式(無い会社もあります)を過ぎると「内定」、それまでは「内々定」となります。

企業によって、5月から「内定」と表現したり、話す時には「内定」のほうが言いやすいので「内定」と表現したりすることも。

内定を目指すみなさんへ、内定をもらった際の注意点についてお知らせします。

- 1.内々定キープは基本1社のみ。2社になった時点で、どちらを残すか決め、1社は速やかに辞退連絡をすること。  
→6月くらいまでは内定を貯めて、最後に決める、と言っていた方がいましたが、企業や他の学生の迷惑になりますので、絶対にやめてください。あなたのキープした1社は、誰かが入れる可能性を奪います。
- 2.内定承諾書は簡単に出すものではありません。よく考えて提出してください。  
提出期限を確認し、期限の1週間前になっても、まだその企業に行く意思が固まらない(就活が終わらない)場合は、今まだ選考中企業があるためという理由で、提出期限を延長してもらえないか、企業に確認をしてください。  
6月くらいまでなら、この理由でほとんどの企業は待ってくれるはずですが。  
よくあるケースは、「では、来月末までに」や「(延ばすから)進捗状況を定期的に連絡してください」という対応があります。
- 3.すでに延長をして、これ以上は延ばせないとなった場合、はじめからダメと言われた場合  
そこで決断するか、提出してしまうか迷うところです。決めかねた場合は、就職指導課までご相談ください。
- 4.内定辞退の連絡は、速やかに、申し訳ない気持ちで、理由を明確に、最後にお世話になったお礼を述べて、です。  
本来であれば、出向いて直接話すのが筋ですが、採用活動真っ只中で企業担当者も忙しいので、まずは電話で辞退の意思を伝えましょう。メールはダメです。その際、「本来であれば、出向いて・・・ですが、まずはお電話で・・・」と話すといいでしょ。どこに決めたの?などいろいろ聞かれますが、答えられる範囲で答えましょう。  
言いづらから、と連絡が遅れたり、ましてや連絡しないなどもってのほか!! 誠意を持って対応して下さい。

「内定承諾書を出してしまうと、絶対に行かなければなりませんか」という質問もよく受けます。

結論から言うと、法的には辞退はいつでもできます。入社してから社員はいつでもやめることができるけれど、会社は相当の理由がない限り、辞めさせることができないのと同じ理由です。

だからと言って、ホイホイ承諾書を出すかという、しないのは前述のとおり。

承諾書を出すと、最終的には断れますが、お世話になった企業に迷惑をかけるだけでなく、皆さんも企業に説明に出向いたり書面を提出することもあり、それ相応の心理的・物理的負担がかかります。また、時期や対応によっては、他日大生や後輩に迷惑になることもあります。このような「社会的責任」を意識した行動が、すでに求められています。

## 敬語ワンポイントレッスン

～言葉遣い、大丈夫?～

就活のワンシーンです。以下の文章の言葉遣い(敬語)は合っていますか?

もし違っている(適していない)場合は、正しい言葉遣いに直してください。

1. こちらが私の履歴書になります。
2. 面接官がお越しになりました。
3. ホームページで、御社の吉田社長様のメッセージを拝見し、興味を持ちました。
4. 会社説明会で、人事の方が●●とおっしゃられていたところが印象的でした。
5. サークルの部長をさせていただいておりました。
6. 人事:「明日の10時にお越しいただけますか?」  
あなた:「大丈夫です。了解いたしました。」
7. すみませんが、資料をいただけますか?
8. (電話で)人事の佐藤様はおられますか?
9. (相手を目の前にして)人事の田中様でございますか?
10. (電話で)企業:「人事の佐藤は終日外出しております」  
あなた:「佐藤様は、明日は会社に来られますか?」

答えを知りたい方は、  
迷った方は、  
就職資料室へ(^^)/